

## 桃園地域座談会ニュース vol.6

平成30年5月25日、第6回座談会を開催しました。

まず、ケースの共有では、

- ・「最期まで自宅で過ごしたい」と希望されている高齢夫妻のこと

- ・関わりに拒否があり、専門医への受診への支援をしている方のこと

について話し合いました。引き続き見守りながら支援していきます。

その中で、「見守りが必要な人をマップに落とし込んではどうか」という意見がでました。マップ作りには個人情報課題もあり、どのように進めるとよいか、引き続き検討していきたいと思っております。



\*\*\*\*\*

今年の2月にはじめて実施した「見守り声かけ訓練」についても振り返りながら、今後の取り組みについて話し合いました。

「訓練も大事であるけれど、その前提として、認知症について学んで知識を持つことが必要」という意見が出ました。

認知症について学ぶために、まずは地域で認知症サポーター養成講座を開催し、第2回見守り声かけ訓練を実施できるよう進めていきたいと思っております。

### <認知症サポーター養成講座とは>

認知症を理解し、認知症の方を支援する応援者（＝認知症サポーター）になっていただくための講座です。

認知症についてや認知症の方への対応について学び、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

受講された方には認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。

